

NEWS RELEASE

2025年5月14日

日本豆乳協会

SOY2501

日本豆乳協会

2025年1-3月期における豆乳類の生産量は、94,634 kℓ

～無調整豆乳は前年同期比107.9%、豆乳飲料は108.1%と大幅に増加、

豆乳類全体の生産量は、前年同期比104.9%と市場は拡大～

日本豆乳協会（事務局：千代田区二番町 会長：山崎 孝一 キッコーマンソイフーズ株式会社 代表取締役社長、事務局長：安部 徹、以下豆乳協会）では、2025年1-3月期における豆乳市場の動向について検証したところ、豆乳類全体の生産量は94,634 kℓ（前年同期比：104.9%）と引き続き、拡大傾向を示しました。

豆乳協会では、四半期毎に国内豆乳生産量を検証しており、豆乳類を分類別に見ると、近年、成長率が高い「豆乳（無調整）」の生産量は32,110 kℓ（107.9%）と引き続き、拡大しています。「調製豆乳」は、44,998 kℓ（102.3%）、「果汁入り豆乳飲料」は、3,556 kℓ（108.1%）、コーヒーや紅茶などの「フレーバー系の豆乳飲料（その他）」は、10,304 kℓ（100.4%）と、いずれの 카테고리においても、増加しています。出荷量においても生産量と同様の傾向を示しています。なお、主に業務用を用途とする「その他」の 카테고리においても、3,666 kℓ（124.8%）と大きく拡大しています。

豆乳協会では、今期（1-3月期）の成長要因を、カテゴリー別に分析をしました。特に124.8%増となった「その他」の 카테고리においては、カフェチェーンにおけるソイラテ需要の拡大をはじめ、外食における利用が増えたことが要因であると考えています。また、「豆乳（無調整）」や「調製豆乳」が伸びを示した要因は、豆乳の特長や成分の優位性に触れる機会が増えたことが後押しとなり、今期においてもリピート購入が増加している点です。「豆乳飲料」においては、メーカー各社が話題性の高い新商品の販売を開始したことも、市場の拡大に貢献しました。

豆乳協会では、引き続き、国民一人あたりの豆乳（類）年間飲用消費量を4ℓに増加させ（2024年3.2ℓ / 総人口12,500万人）、年間総生産量を50万kℓにすることを目標に、豆乳に対する人々の理解や関心を高めるため、年間を通じて様々な啓発・啓蒙活動を展開していきます。

(参考)

日本豆乳協会は、豆乳および豆乳製品の普及を第一の目的に様々な啓蒙活動を行っています。昭和54年9月1日に設立して以来、豆乳メーカー各社が会員となり、メーカー同士の親睦や情報交換、さらには他の機関や団体との協調を図っています。豆乳類の製造、加工、品質、流通に関する研究はもちろん、業界の健全な育成、発展に寄与することをミッションに、日々、豆乳の普及や期待される効果・効能の啓蒙活動を展開しています。毎年10月12日を「豆乳の日」、また、本年より、6月12日を「ヘルシーソイラテの日」と制定し、業界全体が一丸となって豆乳の普及に向けて様々な活動を行っています。

～報道関係の方のお問い合わせ先～

日本豆乳協会 広報担当

(株)VA インターナショナル
田中/岩野

メール : vai@va-intl.co.jp
TEL:03-3499-0016 FAX:03-3499-0017